



姉妹都市ニュージーランド ワカタネ市内にあるソートン小学校ではスティール知末(ともみ)先生が生徒たちに日本語を教えています。鎌ヶ谷市市制施行 50 周年のお祝いの際には、生徒達の盆踊りの動画を送っていただきました。(現在も市 HP で公開中です。)今回は知末先生より、ソートン小学校を紹介していただきました！



鎌ヶ谷市の皆様こんにちは。

ソートン小学校は、ワカタネ市内から車で約 10 分ほど西に向かったところにある小学校です。クラスは全部で 6 クラス、生徒数は 113 人、Year1(5 才)から Year8(12 才)までの生徒が通っています。



ソートン小学校では、毎週木曜日に日本語のクラスがあり、皆楽しく日本語を学んでいます。ソートン小学校は、普段は制服着用で、スポーツデーなど特別な日に mufti(私服)で登校することができます。学校の fund raising(資金集め)の一つとして、毎週金曜日は\$1 でアイスクャンディーを買って学校で食べることができます。



日本の小学校と比べて違うことは多々あるのですが、私が一番驚いたのは、日本の小学校のように机が並んでいないことです。受身の授業ではなく、自ら考える授業のため、先生対生徒のレイアウトになっていないのだと思います。また、家から持ってくるお弁当に、お菓子(ポテトチップスやグミなど)が入っているのにも驚きました。日本で育った私達からすると、羨ましいですね。

高学年の生徒達は、いつか鎌ヶ谷市とのホームステイプログラムに参加したいと話しているんですよ。コロナ禍で、物事が思うようにいかない日々が続きますが、いつか鎌ヶ谷市またはワカタネで交流ができることを心待ちにしています。

スティール知末

Pink Shirt Day 「いじめ反対！」の日の写真です。

この日はピンク色を身につけて、いじめへの意識を高める授業やアクティビティーが行われました。

